



とま とうり
山 里

東郷小学校だより

令和7年度 6号 (通 345号)

令和7年 10月 10日

文責：伊藤 礼輔



↑児童の様子はこちらからご覧ください

「みんなが楽しい学校」を目指して

本校の今年度の教育目標は「互いを尊重しながら 自分らしく可能性に挑戦できる子どもの育成」です。また子ども達の合言葉は「挑戦」「多様性」です。

これは、第7次山形県教育振興計画の基本目標である「ウェルビーイングを目指し、**多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり**」を受けて考えられた目標です。

このような目標が考えられた背景は、今後私たちの生活は、変化が速く複雑でよりグローバル（地球全体）化することが予想されているからです。

いままでの社会はその集団の価値観を理解し順応することがいいこととされ、学校もみんなと同じことをすることが大切にされてきました。

しかし、グローバル化が進むことにより、「画一性」から「多様性」の重要度が高くなることが予想されます。では「『多様性あふれる』とは何か」について考えてみます。

人間はそもそも「違った個性」を持っています。例えば性別 体格 国籍 人種などほかにも多くに違いがあります。さらに、生まれてきてからの環境も様々で、それらが「違った個性」を作り上げています。「多様性あふれる」とはその「違った個性」が光り輝きながら生き生きと発揮されている様子を表しています。

でも少し誤解があるようです。「みんな違ってみんないい。」「やりたいことを積極的にやる。」といったとらえで理解をしている人もいますが、これだけでは不十分です。正しくは「**全員が違った個性や能力を持つ個人として尊重されること。**」です。具体的に言えば「自分らしく生きること」「自分らしく生きることが認められること」です。

つまり、何か（他人）を犠牲にしたり自分だけがいい思いをしたりすることではありません。

多様性あふれる社会の実現には**協力しあえる**ことが大切です。自分の幸せだけでなく、**相手の幸せをも考える**ことが求められます。



創立 150 周年記念式典・記念公演及び学習発表会

11月1日（土）に本校体育館で、午前中に創立 150 周年記念の式典・記念公演、午後より学習発表会が開催されます。

記念公演は講師として本校卒業生の T U Y アナウンサーの大内希美さんをお招きして、児童へのメッセージをお話しいただく予定になっております。

尚、学習発表会はどなたでもご覧いただけます。詳しくは後日本校 Web ページでお知らせします。



東根市アイデア工作展
奨励賞 2年 安達奏馬さん
おめでとうございます。

児童の活躍が届いています